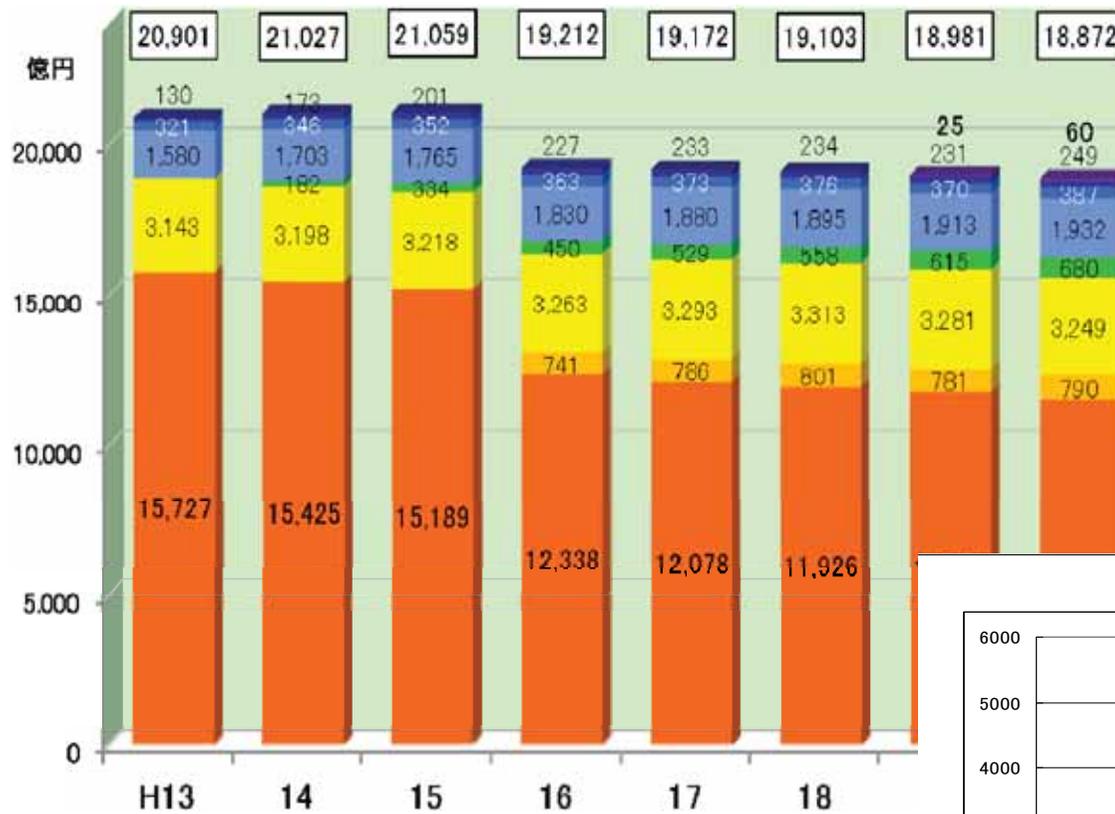
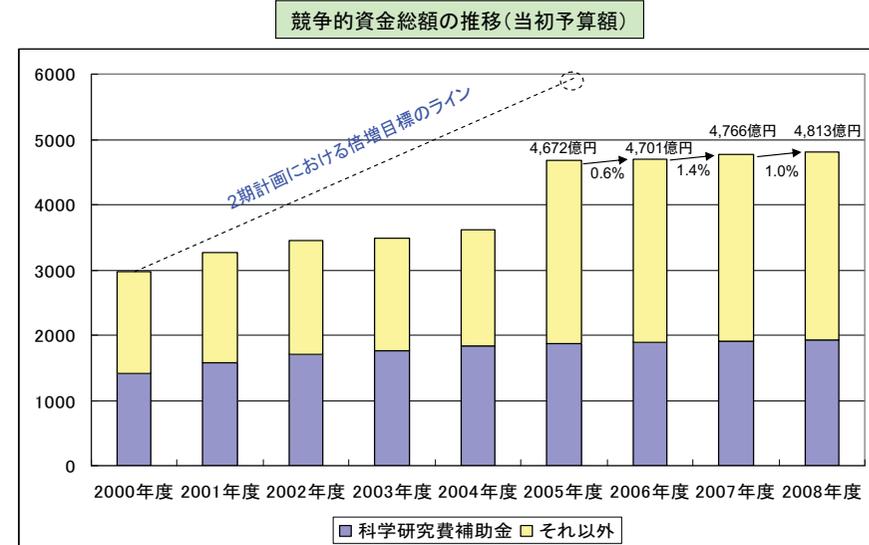


疲弊する大学

大学収入のなかで
運交金 + 研究経費
(病院収入等を除く)



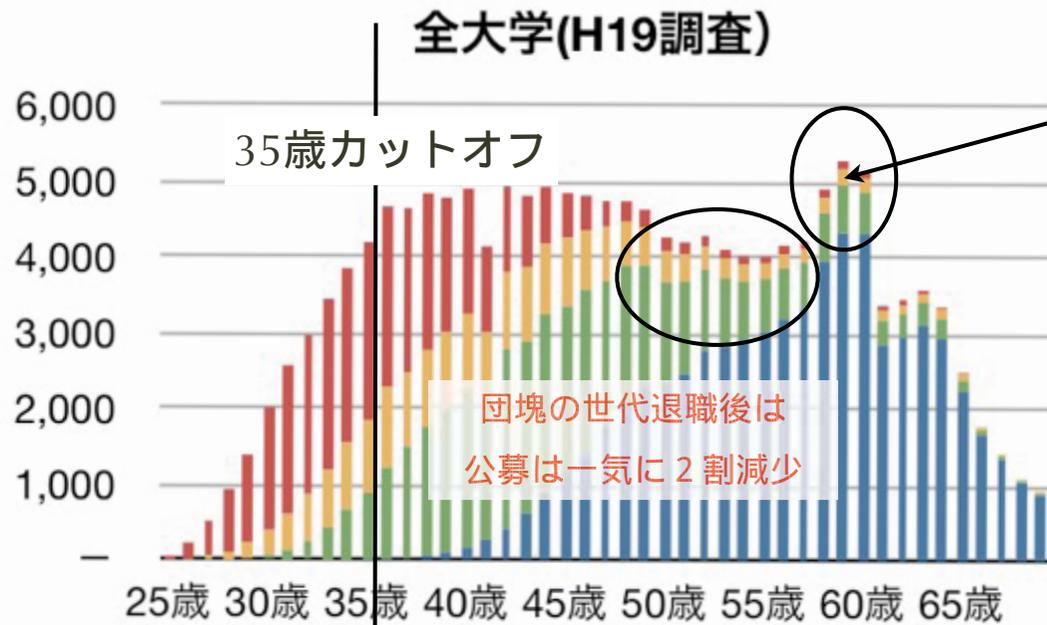
競争的資金の目標ラインが
達成できないために大幅減



注：2005年度には、既存制度の機能拡充により多数の制度が競争的資金に組み入れられた。

大学における階層構成と 日本人の年齢構成

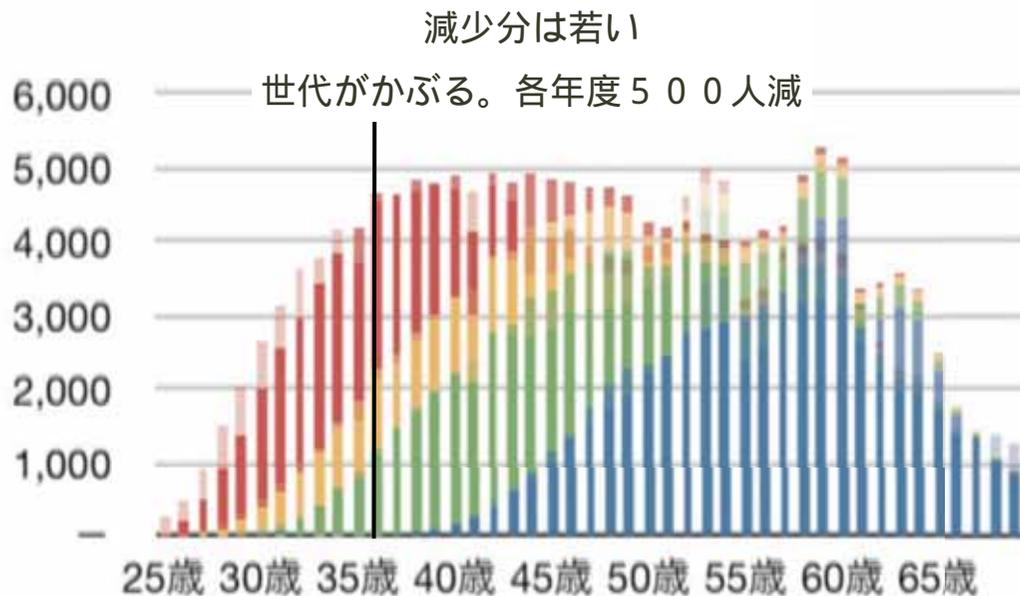
- 団塊の世代→年齢構成のピーク。海外流出後日本の大学に還流。現在の大学のアクティビティを支える。
- 第2次ベビーブームではこのピークがみられない。（定員削減による教授、准教授、助教の定数比の問題）すでにロストジェネレーションが生まれている。（PDの年齢構成については後述）
 - 過当競争“感”（大学院重点化の効果を含む）
 - 35歳以上のPD数の増加（人口分布と大学院重点化に関係）
- 基礎となる人口数は今後さらに急速に減少。．．．年にはピーク時の約半分に



団塊の世代

現在は“big dip” + 定年延長
でopen position が少ない時期

薄い色は13年度調査。



採用にあたって、35前後にカットオフが存在する。35歳以上は案外平坦であるが、基礎数をを考えれば実は問題あり

H16, 13 と比べ顕著な若手教員の減少がみられる。これは、現在が退職者の減少期であることを反映している。